

DRUG

INFORMATION

2005 No. 10

岐阜大学医学部附属病院薬剤部
医薬品情報管理室（内線7083）

平成17年6月3日発行

目 次

- 1 . 医薬品の採用・採用中止について1
 - 平成 17 年 6 月 2 日の薬事委員会結果 -
- 2 . 新規院内処方医薬品添付文書情報3

Drug Information は医学部・附属病院 HP の下記アドレスにて提供しています。
<http://www1.med.gifu-u.ac.jp/web/drug-info/>

電子メールによる連絡を希望される方は下記までご連絡下さい。
di8931@cc.gifu-u.ac.jp

医薬品の採用・採用中止について - 平成 17 年 6 月 2 日の薬事委員会結果 -

院内新規試用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アイトロール錠(一硝酸イソソルピド)	20mg/錠	狭心症治療剤	トーアエイヨー
カデックス軟膏(ヨウ素)	{0.9%} 40g/本	褥瘡・皮膚潰瘍治療剤	スミス・アンド・ネフュー
イダマイシン注(塩酸イダルビシン)	5mg/V	抗腫瘍性抗生物質製剤	ファイザー
エンブレル皮下注用(エタネルセプト)	25mg/V	抗リウマチ剤	武田
カルセド注射用(塩酸アムルピシン)	20mg, 50mg/V	抗腫瘍性抗生物質製剤	日本化薬
サブラッド - BS	2,020mL/キット	濾過型人工腎臓用補液	扶桑

院内採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
アーガメイトゼリー(ポリスチレンスルホン酸カルシウム)	25g/個	高カリウム血症改善剤	三和化学
コバシル錠(ペリンドプリルエルブミン)	4mg/錠	ACE 阻害剤	第一
フォリアミン錠(葉酸)	5mg/錠	葉酸製剤	日本製薬
ベイスン OD 錠(ボグリボース)	0.3mg/錠	糖尿病食後過血糖改善剤	武田
ユーゼル錠(ホリナートカルシウム)	25mg/錠	還元型葉酸製剤	大鵬
ネオパレン 1 号, 2 号	1,000mL/袋	高カロリー輸液用製剤	大塚
ベグイントロン皮下注用(ペグインターフェロン α-2b)	50μg 100μg 150μg } 0.5mL/V	インターフェロン製剤	シェリング・プラウ

院内採用中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
サンディミュン内用液(シクロスポリン)	5g/50mL/瓶	免疫抑制剤	ノバルティス
ゾピラックス錠(アシクロビル)	400mg/錠	抗ウイルス化学療法剤	GSK
ハイバジールコーワ錠(ニプラジロール)	3mg/錠	高血圧・狭心症治療剤	興和
ヒダントール錠(フェニトイン)	25mg/錠	抗てんかん剤	三共
リドーラ錠(オーラノフィン)	3mg/錠	RA 寛解導入剤	GSK
レフトーゼシロップ(塩化リゾチーム)	5mg/mL	消炎酵素剤	日本新薬
サブラッド - B	1,010mL/組	濾過型人工腎臓用補液	扶桑

院内在庫がなくなり次第, 処方中止とします。

院外採用医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
エマルック錠(クエン酸タモキシフェン)	10mg/錠	抗乳癌剤	日医工
ピオチン散(ピオチン)	2mg/g	ビタミン H 製剤	扶桑
メルクメジンカプセル(球形吸着炭)	200mg/Cp	慢性腎不全用剤	メルク・ホエイ
メルクメジン細粒(球形吸着炭)	2g/包	慢性腎不全用剤	メルク・ホエイ
リピディルカプセル(フェノフィブラート)	100mg/Cp	高脂血症治療剤	科研
キューバル 50 エアゾール(プロピオン酸ベクロメタゾン)	8.7g/瓶	吸入ステロイド喘息治療剤	大日本
ヒューマログ N 注, 25 注, 50 注カート(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/筒	抗糖尿病剤	イーライリリー
ヒューマログ N 注, 25 注, 50 注キット(インスリンリスプロ)	300 単位/3mL/キット	抗糖尿病剤	イーライリリー

製剤変更医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
ハルナールカプセル ハルナール D 錠	0.1mg , 0.2mg /Cp 錠	排尿障害改善剤	アステラス
スロンノン注 スロンノン HI 注	10mg/20mL/A 10mg/2mL/A	抗トロンビン剤	第一

：(院内薬品)新製剤発売後，旧製剤の院内在庫がなくなり次第，処方変更とします。

：(院外薬品)新製剤発売後，即時に処方変更とします。

販売中止医薬品

医薬品名(成分名)	規格・単位	薬品分類	会社名
5 - オキシシン錠(アントラニル酸, アスコルビン酸)	合剤	視機能保持剤	参天
ティシール	2mL/セット	生物学的組織接着剤	バクスター
ワックスネート(ジオクチルスルホコハク酸ナトリウム)	50mg/mL	耳垢除去剤	ゼリア
確認診断用精製ツベルクリン	10μg/V	結核診断用剤	日本 BCG

：(院内薬品)院内在庫がなくなり次第，処方中止とします。

：(院外薬品)6 月 30 日付で，処方中止とします。

新規院内処方医薬品添付文書情報

* 一硝酸イソソルビド Isosorbide Mononitrate

【商】アイトロール Itorol トーアエイヨー

内用：錠剤 1錠中 20mg [20.9 円/錠]

【禁】重篤な低血圧又は心原性ショックのある患者，閉塞隅角緑内障の患者，頭部外傷又は脳出血のある患者，高度な貧血の患者，硝酸・亜硝酸エステル系薬剤に対し過敏症の既往歴のある患者，ホスホジエステラーゼ 5 阻害作用を有する勃起不全治療剤(クエン酸シルデナフィル，塩酸バルデナフィル水和物)を投与中の患者

【効】狭心症

【用】1 回 20mg，1 日 2 回を投与する。効果不十分な場合には 1 回 40mg，1 日 2 回まで増量できる。ただし，労作狭心症又は労作兼安静狭心症で発作回数及び運動耐容能の面で重症と判断された場合には 1 回 40mg，1 日 2 回投与できる。

【副】肝機能障害，黄疸 めまい，ふらつき，動悸，血圧低下，浮腫，熱感，頭痛，頭重感，全身倦怠感，しびれ，不眠，発疹，瘙痒感，腹痛，嘔気，下痢，胃もたれ，腹部膨満感，鼓腸，口内乾燥，嘔吐，食欲不振，AST・ALT・LDH 上昇，CK・BUN・クレアチニン上昇，筋肉痛

【妊】有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳回避

【小】未確立

* ヨウ素 Iodine

【商】カデックス Cadex

スミス・アンド・ネフュー

外用：軟膏剤 0.9%(40g) [90.4 円/g]

【禁】ヨウ素過敏症の患者

【効】褥瘡，皮膚潰瘍(熱傷潰瘍，下腿潰瘍)

【用】潰瘍面を清拭後，通常 1 日 1 回，患部に約 3mm の厚さに塗布する(直径 4cm あたり 3g を目安に塗布する)。滲出液の量が多い場合は，1 日 2 回投与する。

【副】皮膚の疼痛・刺激感，皮膚炎，瘙痒

【妊・授】長期・広範囲使用回避

* 塩酸イダルビシン Idarubicin Hydrochloride

【商】イダマイシン Idamycin ファイザー

注射：Ⓖ 1 瓶中 5mg [15,939 円/瓶]

【警】 本剤の投与は，緊急時に十分に対応できる医療施設において白血病の治療に十分な知識と経験を持つ医師のもとで行うこと。 本剤の使用にあたっては，患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し，同意を得てから開始すること。 本剤は強い骨髄抑制作用を有する薬剤であり，本剤に関連したと考えられる死亡例が認められている。本剤を投与したすべての患者に強い骨髄抑制が起こり，その結果致命的な感染症及び出血等を引き起こすことがあるので，下記につき十分注意すること。1)本剤の投与後に認められる骨髄抑制は重篤かつ長期に持続することもあるので，感染予防や致命的な出血の予防に十分な対策を講じること。2)重篤な感染症を合併している患者には投与しないこと。3)本剤投与時に前治療又は他の薬剤による骨髄抑制を起こしている患者では，治療上の有益性が危険性を上回るとき以外は投与しないこと。4)投与開始後は，頻回に血液検査を行うなど患者の状態を注意深く観察し，重篤な感染症又は出血等を引き起こした場合は投与を中止し，必要な処置を行うこと。 本剤は心筋障害作用を有するため，慎重に患者を選択し，本剤の投与が適切と判断される症例にのみ投与し，下記の患者には投与しないこと。1)心機能異常又はその既往歴のある患者 2)他のアントラサイクリン系薬剤等，心毒性を有する薬剤による前治療が限界量(塩酸ダウノルビシンでは総投与量が体重当り 25mg/kg，塩酸エピルビシンでは総投与量がアントラサイクリン系薬剤未治療例で体表面積当り 900mg/m²等)に達している患者 本剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者には投与しないこと。

【禁】心機能異常又はその既往歴のある患者，本剤に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者，重篤な感染症を合併している患者，他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療が限界量(塩酸ダウノルビシンでは総投与量が体重当り 25mg/kg，塩酸エピルビシンでは総投与量がアントラサイクリン系薬剤未治療例で体表面積当り 900mg/m²等)に達している患者，重篤な肝障害の患者，重篤な腎障害の患者

【効】急性骨髄性白血病(慢性骨髄性白血病の急性転化を含む)

【用】5mgに 5mLの注射用水を加え溶解する。12mg/m²を 1 日 1 回, 3 日間連日静注する。骨髄機能が回復するまで休薬し, 投与を繰り返す。

【副】心筋障害, 心不全, 汎血球減少, 血小板減少, 顆粒球減少, 貧血, 出血傾向, 口内炎, ショック 頻脈, 心膜炎, 不整脈, 心電図異常, 食欲不振, 悪心・嘔吐, 下痢, 腹部不快感, 腹痛, 紅斑, 発疹, 脱毛, AST・ALT・総ビリルビン・Al-P 上昇, BUN・クレアチニン上昇, 頭痛, 発熱, 疼痛, 胸部圧迫感, 血管痛

【妊】回避 【授】授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立, 慎重

* エタネルセプト Etanercept

【商】エンブレル Enbrel 武田

注射: ㊉ 1 瓶中 25mg [15,396 円/瓶]

【警】 本剤投与により, 結核, 敗血症を含む重篤な感染症及び脱髄疾患の悪化等が報告されており, 本剤との関連性は明らかではないが, 悪性腫瘍の発現も報告されている。本剤が疾病を完治させる薬剤でないことも含め, これらの情報を患者に十分説明し, 患者が理解したことを確認した上で, 治療上の有益性が危険性を上まわると判断される場合にのみ投与すること。また, 本剤の投与において, 重篤な副作用により, 致命的な経過をたどることがあるので, 緊急時の対応が十分可能な医療施設及び医師が使用し, 本剤投与後に副作用が発現した場合には, 主治医に連絡するよう患者に注意を与えること。 感染症(1)重篤な感染症: 敗血症, 真菌感染症を含む日和見感染症等の致死的な感染症が報告されているため, 十分な観察を行うなど感染症の発症に注意すること。(2)結核: 播種性結核(粟粒結核)及び肺外結核(胸膜, リンパ節等)を含む結核が発症し, 死亡例も報告されている。結核の既感染者では症状の顕在化及び悪化のおそれがあるため, 本剤投与に先立って結核に関する十分な問診, 胸部レントゲン検査及びツベルクリン反応検査を行い, 適宜胸部 CT 検査等を行うことにより, 結核感染の有無を確認すること。また, 結核の既感染者には, 抗結核薬の投与をした上で, 本剤を投与すること。 脱髄疾患の臨床症状・画像診断上の悪化が, 本剤

を含む TNF 抑制作用を有する薬剤でみられたとの報告がある。脱髄疾患(多発性硬化症等)及びその既往歴のある患者には投与しないこととし, 脱髄疾患を疑う患者や家族歴を有する患者に投与する場合には, 適宜画像診断等の検査を実施するなど, 十分な観察を行うこと。 本剤の治療を行う前に, 非ステロイド性抗炎症剤及び他の抗リウマチ薬等の使用を十分勘案すること。また, 本剤についての十分な知識とリウマチ治療の経験をもつ医師が使用すること。

【禁】敗血症の患者又はそのリスクを有する患者, 重篤な感染症の患者, 活動性結核の患者, 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者, 脱髄疾患(多発性硬化症等)及びその既往歴のある患者, うっ血性心不全の患者

【効】関節リウマチ(既存治療で効果不十分な場合に限る)

【用】本剤を注射用水 1mL で溶解し, 10~25mg を 1 日 1 回, 週に 2 回, 皮下注する。

【副】敗血症, 肺炎, 真菌感染症, 結核, 血管浮腫, アナフィラキシー, 気管支痙攣, 蕁麻疹, 再生不良性貧血, 汎血球減少, 白血球減少, 好中球減少, 血小板減少, 貧血, 多発性硬化症, 視神経炎, 横断性脊髄炎, 間質性肺炎, 抗 dsDNA 抗体の陽性化を伴うループス様症候群 感冒, 上気道感染, 咽頭炎, 咳嗽, 気管支炎, 喀痰, 鼻漏, 鼻炎, 鼻閉, 喘息, 気管狭窄, 気管支拡張症, 気管支肺異形成症, 血痰, 副鼻腔炎, 嚔声, 扁桃炎, 発疹, 痒痒症, 白癬, 蕁麻疹, 脱毛, 爪の異常, 光線過敏症, 色素性母斑, 爪囲炎, 爪感染, 皮膚乾燥, 肝臓, 皮膚血管炎, 腹痛, 下痢, 悪心, 胃腸炎, 嘔吐, 咽喉頭疼痛, 口内炎, 食欲不振, 歯周炎, 歯肉炎, 口唇炎, 胃部不快感, 咽頭不快感, 消化性潰瘍, 軟便, 腹部膨満, 便秘, 齲歯, 歯の知覚過敏, 歯髄炎, 歯痛, 歯肉腫脹, 舌苔, 脾炎, 注射部位紅斑・出血斑・痒痒感・皮膚炎・疼痛・挫傷, 尿路感染, 尿沈渣, 血尿, BUN 増加, 蛋白尿, 残尿感, 頻尿, クレアチニン上昇, 腎結石, 腎盂腎炎, 尿糖, 浮動性めまい, 頭痛, 感覚減退, 不眠, 眠気, 錯感覚, 手根管症候群, 不安, 味覚異常, 嗅覚異常, ALT 上昇, AST・Al-P・LDH 上昇, 肝機能異常, 高血圧, 期外収縮, 血圧上昇, 動悸, 潮紅, 頻脈, ヘモグロビン・ヘマトクリット減少, 好酸球増加, 赤血球減少, 鉄欠乏性貧血,

白血球減少・増加，リンパ球増加，血小板減少，好中球減少・増加，白血球分画異常，網状赤血球増加，結膜炎，麦粒腫，眼乾燥，眼精疲労，結膜充血，白内障，角膜潰瘍，眼のちらつき，化膿性関節炎，関節痛，滑膜炎，関節脱臼，肩こり，腰痛，靱帯障害，脊椎症，ループス様症候群，インフルエンザ，創傷感染，膿瘍，月経不順，乳腺炎，発熱，出血，浮腫，コレステロール上昇，胸痛，胸部不快感，アルブミン減少，疲労，倦怠感，口渇，四肢不快感，総蛋白増加，体重減少，脱水，脱力感，難聴，痙攣，自己抗体陽性

【妊】未確立，有益のみ

【授】回避，やむを得ない場合は授乳中止

【小】未確立

【貯】2～8

* 塩酸アムルピシン Amurubicin Hydrochloride

【商】カルセド Calsed 日本化薬

注射：劇 1 瓶中 20mg [8,511 円/瓶]
50mg [19,123 円/瓶]

【警】本剤の使用にあたっては，患者又はその家族に有効性及び危険性を十分説明し，同意を得てから投与を開始すること。本剤との因果関係が否定できない間質性肺炎の増悪あるいは重篤な骨髓機能抑制に起因する重篤な感染症(敗血症，肺炎等)の発現による死亡例が報告されているので，投与中に感染徴候に十分留意し，異常が認められた場合には投与を中止し，適切な処置を行うこと。本剤は，緊急時に十分に措置できる医療施設及び癌化学療法に十分な経験を持つ医師のもとで，本剤が適切と判断される患者にのみ投与すること。

【禁】重篤な骨髓機能抑制のある患者，重篤な感染症を合併している患者，胸部単純X線写真で明らかでかつ臨床症状のある間質性肺炎又は肺線維症の患者，心機能異常又はその既往歴のある患者，他のアントラサイクリン系薬剤等心毒性を有する薬剤による前治療が限界量(塩酸ダウノルピシンでは総投与量が 25mg/kg，塩酸ドキソルピシンでは総投与量が 500mg/m²，塩酸エピルピシンでは総投与量が 900mg/m²，塩酸ピラルピシンでは総投与量が 950mg/m²等)に達している患者，本剤の成分に対し重篤な過敏症の既往歴のある患者，妊婦又は妊娠している可能性のある婦人

【効】非小細胞肺癌，小細胞肺癌

【用】45mg/m²を約 20mLの生理食塩液あるいは5%ブドウ糖注射液に溶解し，1 日 1 回 3 日間連日静脈内に投与し，3～4 週間休薬する。これを1クールとし，投与を繰り返す。

【副】骨髓機能抑制，間質性肺炎，胃・十二指腸潰瘍 心筋障害，うっ血性心不全 心電図異常，不整脈，動悸，左室駆出率低下，血圧低下，心拡大，心膜滲出液，ALT・AST・LDH・Al-P・総ビリルビン上昇，ウロビリノーゲン陽性，尿蛋白陽性，BUN・クレアチニン上昇，食欲不振，悪心・嘔吐，口内炎，下痢，便秘，口角炎，歯周炎，軟便，下血，肺炎，気胸，頭痛，手足のしびれ，末梢・知覚神経障害，頭重，皮疹，発疹，脱毛，発熱，白血球分画異常，血清総蛋白低下，血沈亢進，血清アルブミン低下，A/G 比異常，電解質異常，尿潜血，全身倦怠，飛蚊症，尿糖陽性，鼻出血，体力喪失，静脈炎，注射部反応，色素沈着，耳鳴，出血傾向，顔面浮腫，胸内苦悶感，感染，血管痛，尿沈渣白血球陽性，血清アミラーゼ上昇，CRP 上昇

【妊】不可 【授】授乳中止

【未・新・乳・幼・小】未確立

【商】サブラッド - BS Sublood-BS 扶桑

注射：液剤 (A 液)1 袋 1,010mL

(B 液)1 瓶 1,010mL [1,351 円/キット]

【効】透析型人工腎臓では治療の持続又は管理の困難な慢性腎不全例に対する濾過型又は濾過透析型人工腎臓使用時並びに治療時間の短縮を目的とする濾過透析型人工腎臓使用時の補充液として用いる。

【用】使用時 A 液及び B 液を混和し，濾過型又は濾過透析型人工腎臓使用時の体液量を保持する目的で点滴注入する。投与は濾過液量と体液量とのバランスを保つように十分注意して行う。成人では 30～80mL/分の投与速度で症状，血液生化学異常，電解質・酸塩基平衡異常，体液バランス異常等が是正されるまで行う。1 回の濾過型人工腎臓治療では 15～20L を 4～7 時間で投与する。透析型人工腎臓と併用する場合には，5～10L を 3～5 時間で投与する。

【副】低血圧，ショック，頭痛，悪心・嘔吐，痙攣，胸内苦悶，全身倦怠感

【妊】未確立，有益のみ 【小】未確立